

研究会事務局：

山口研究室

戦前昭和期図書館史に関するの二つの論文

小黒浩司「衛藤利夫 — 植民地図書館人の軌跡」(1)(2) (『図書館界』43巻5,6号)、奥泉和久「戦前における『読書指導』の導入について — 1935~1940年」(『図書館界』44巻1号)と、今年に入って『図書館界』が戦前昭和期の図書館史に関する研究を相次いで掲載している。また昨年(1991)の第9回図書館史セミナーでも戦争と図書館の問題がテーマの柱となった。この期の図書館史をあつかおうとすれば、図書館(人)と戦争協力の問題を避けて通ることはできない。『戦争と図書館』(1977年)で、この領域での研究に先鞭をつけた清水正三は、1933年の中央図書館制度成立を契機とした図書館統制の強化、出版・思想警察による図書館への干渉等によって、図書館が思想統制(善導)の機関と化してゆく過程と実態を描くと同時に、少数ながら「時代の流れ」に勇氣と良心をもて抵抗した図書館人が存在したことの意義にもふれている。しかし図書館の戦争責任の問題を意識しつつも、全体として図書館の外側からの政策的・権力的動きに重心がおかれ、当時の図書館人(界)がどのように「時代」に取り込まれ、あるいは積極的にこれを支えたのかという問題については十分解明されてはいたわけではない。この意味で戦前昭和期の図書館人(界)の思想と行動に深く立ち入った研究が待たれていた。

上の小黒、奥泉両氏の論文は、そうした課題に向かおうとする研究である。前者が衛藤利夫(植民地・奉天図書館長)の思想と行動を、後者は「国民読書指導運動」に図書館界が何故に行き着いたのかを、それぞれ史料に基づき丹念に(実証的に)分析している。立ち入った論評は後日に譲るとして、小黒論文については、衛藤利夫の思想と行動一般ではなく、彼の図書館思想の内部構造および全体像の解明へ、奥泉論文については、「国民読書運動」の「導入期」から、さらに展開・挫折過程、そして運動の担い手たちの「総括」様式を含む全過程の分析へと研究が進展することを期待したい。(山口源治郎)

# 第10回図書館史を考えるセミナー

## 開催のご案内

第10回図書館史を考えるセミナーを下記の要領で開催致します。

今年、日本図書館協会の前身である、日本文庫協会が1892年に発足して百周年に当たります。先般これを記念してのシンポジウムや展示等が開かれました。今年度の図書館史を考えるセミナーでもこれを記念して、テーマを「変革期における図書館協会 — 日本図書館協会創立百年に因んで — 」としました。日本および隣国の韓国、英、米、さらに現在世界の注目を集めているロシアを取り上げ、変革期にある各国図書館活動を、図書館協会を中心に眺めてみようとするものです。皆様のご参加と積極的な問題提起を期待しております。

### 記

テーマ 変革期における図書館協会  
— 日本図書館協会創立百年に因んで —

日時 9月5日(土)、9月6日(日)

会場 アジア会館(会議室 A室)  
〒107 東京都港区赤坂8丁目10-32 ☎  
(地下鉄 青山1丁目/乃木坂から徒歩6分)

日程 9月5日(土)

13:00 研究発表・討論  
[司会: 寺田光孝・宇治郷毅・中林隆明]

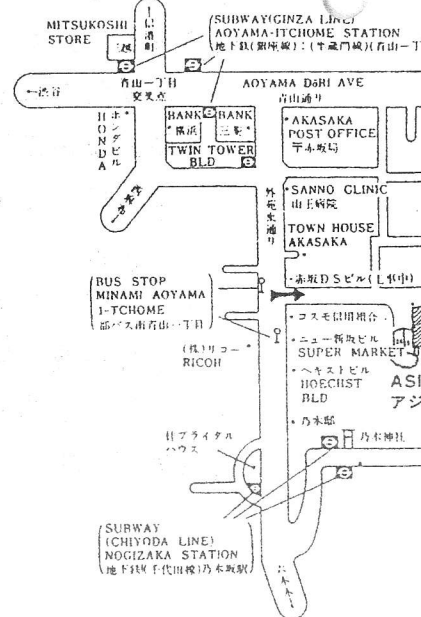
米国…………… 山本順一  
ロシア…………… 岩沢 聡  
韓国…………… 林 昌夫

17:00 懇親会

9月6日(日)

9:00 研究発表・討論  
[司会 小川徹]

ASIA CENTER OF JAPAN  
アジア会館  
ADDRESS 10-32, AKASAKA 8-CHOME, MINATO-KU, TOKYO  
住所 〒107 東京都港区赤坂8丁目10-32  
☎ (03)3402-6111 FAX (03)3402-6112



日本図書館協会百年史編纂について

..... 石井 敦

神奈川県図書館協会について

..... 池田政弘

総括 ..... 山口源治郎

参加費等 参加費 2000円

懇親会費 5000円

定員 50名

(申込み要領)

参加申込 7月31日(金)までに、下記の事項を記入のうえハガキで申込んで下さい。

- ①住所 ②氏名・所属 ③会員・非会員の別 ④懇親会参加希望の有無

申込先

中林隆明

宿泊 宿泊は各自で手配願います。

アジア会館(西) 宿泊可

S・4,700 S(バス付)・5,700 T・6,200 / 7,000

『図書館史研究』第8号

(図書館史研究会編 日外アソシエーツ刊 定価1,500円)

内容：東京書籍館における法律書庫の開設(石山洋)、20世紀初頭におけるシカゴ大学図書館の組織改革(三浦逸雄)、埼玉県の巡回文庫(飯野洋一)その他

近日中にA会員の方にはお届けできるものと思います。ご期待下さい。またB会員の皆さまもふるってご購読下さい。

### 【図書館史研究情報】

この春「オーラルヒストリー研究グループ」（代表：小黒浩司）が発足しました。本研究グループは、図書館関係者の証言を記録（保存）することを通して、文献資料ではうかがえない図書館史の事実を発掘し、図書館史研究の基礎を豊かにすることをめざしています。当面『中小レポート』の成立過程を中心に調査研究を進めていく方針です。

### 【資料寄贈】

浪江虔さんと福岡県立図書館より下記資料の寄贈がありました。ありがとうございました。

- ・浪江虔「これでは手も足も出ない — 住民が見た官治地方制度」（『月刊自治研』1977.5）
- ・浪江虔「私と図書館協会」（『図書館雑誌』1992.4）
- ・『福岡県立図書館報』No.26 1992.3

### 【会員異動】

新 (旧)

### 【事務局より】

- ・事務局が4月より図書館情報大学から東京学芸大学に変わりました。新住所等はニュースレター冒頭に記してあります。
- ・ニュースレターの発行が遅れ申し訳ありません。

- ・本年度会費の納入をお願い致します。請求書と振替用紙を同封しました。
- ・ニュース・レターへの投稿募集